

大規模、老朽化、空調なしの改善急務

本村伸子衆院議員が2月25日の国会質問で、愛知県の特別支援学校の大規模問題や老朽化、教室不足を取り上げ、改善を求めたことに対し、馳(はせ)浩文科大臣が、視察したいと答弁していた問題で、19日、馳大臣が全国4位の大規模校である愛知県三好特別支援学校(みよし市)を視察しました。本村議員も同行しました。

「自分が通っていた学校がそのまま残っている感じがした」「要望を踏まえ、予算措置を含めて対応しなければならぬ」「空調について何とかしたい」と話しました。

地方議員も同行し、みよし市の牧田みつお党市議も学校を訪れていました。

本村議員は「これだけの人数で視察に来たのですから、特別支援学校の数が足りない問題やボロボロの老朽化、室温がマイナス4℃から40℃にまでなるといふ劣悪な教育環境の改善に結びつけるよう引き続き取り組みます」と話していました。

文科大臣が特別支援学校視察 本村議員質問きっかけに実現



馳大臣は45分間の予定を変更して一時間半ほど視察を行いました。

雇用促進住宅で交流会開く

国会議員団東海ブロック事務所、雇用促進住宅廃止問題の学習交流会を19日、名古屋市熱田区の労働会館で開催しました。

愛知、岐阜、三重から地方議員らが参加、中国ブロック事務所からも参加がありました。

雇用促進住宅には現在も全国で約9万人が居住しています。

国と「高齢・障害・求職者雇用

支援機構」は2021年度までに完全廃止するために民間売却を進め、民間売却ができなくても2〜3年後には退去を求める方針です。

石井敏憲・島津議員秘書が報告し、入居者を自治体の住民の一人として、孤立させないように要求運動を進めていくことや、下呂市、郡上市など自治体がい上げて活用している例を参考に、国、県、市町村に働きかけていくことなどを問題提起しました。

保育の質の確保・向上を

島津議員・内閣委員

島津幸広衆院議員は18日、内閣委員会で、「子ども・子育て支援法の一部改正案」の質問を行いました。

待機児童解消のために、企業拠出金の一部をつかい、事業所内などに保育所をつくる「企業主導型保育」の設置などをすすめるものですが、市町村の監督・指導が及ばず、保育の質の低下はまぬがれません。

安倍内閣は、新たに増やす10万人分の保育施設のうち5万人分を市町村が関与しない無認可施設である



「企業主導型保育」で確保するとしています。

こうした問題点とともに、島津氏

は、認可外保育所での死亡事故の発生率が、認可保育所の8倍にもなっていること、国がその詳細な原因もつかまず、原因に応じたまともな対策もとってこなかったことを追及し、保育の質の確保・向上を求めました。

また、島津氏は、低い賃金とともに、人手不足で忙しい保育士の実態や、良い保育をしようすれば独自に保育士や職員を増やす必要があり、賃金などの「公定価格」は決まっているため、増員すれば全体の賃金が下がるなどの問題点を指摘。保育士の処遇の抜本改善を求めました。

党は、公的な保育・認可保育所を増やして待機児童解消をはかるべきとの立場から法案には反対しました。

国会議員の主な演説会日程

- 3月26日(土)13時30分 脱「貧困大国」のつどい 愛知県委員会 名古屋市教育館講堂 国会報告:本村議員。たけだ比例、すやま選挙区両候補も参加
- 3月27日(日)13時30分 山県市演説会 高富公民館 14時30分 瑞穂市演説会 駅西会館 *いずれも島津議員
- 4月2日(土)14時 演説会 磐田市1フラザ 井上参院議員、たけだ比例、鈴木選挙区候補
- 4月3日(日)14時 演説会 豊橋公会堂大ホール 市田忠義副委員長 たけだ比例、すやま選挙区候補

島津議員が25日、衆院内閣委員会で、雇用促進住宅問題を質問